

小松発着の遊覧フライトを実施

羽咋新聞

令和4年
5月11日
水曜日

号外



QRコードを読み取りください。



思い出と共に、いざ大空へ



機側での集合写真撮影
11日ー小松空港



楽しむ生徒たち

羽咋中学校(石川県羽咋市)は今年11日、修学旅行の一環として小松空港発着の航空機を貸し切り、3年生を対象に南アルプスから富士山、そして母校のある羽咋市上空の遊覧飛行を実施した。新型コロナウイルス感染症対策のため一般客が使用する国内線施設ではなく、国際線の保安検査場と出入国審査場を使い、まるで国際線に搭乗したかのような雰囲気味わった。航空機は144人乗りの国際線機材ボーイング737型機を利用。約90分のフライトの中で3年間を共にした学友たちと更なる親交を深めた。



フライトマップ

フライト前日には、北陸にゆかりのある日本航空の客室乗務員で構成された「ふるさと応援隊」によるお仕事講演も受講。空の上での仕事に関する知識を習得し、客室乗務員の学生時代の話や、仕事のやりがいについての話を熱心に聞いていた。

客室乗務員による講演も



客室乗務員のお仕事講演の様子
11日ーロイヤルホテル富山砺波



生徒が搭乗したB737-800



機内での様子



これからの人生が、ますます素晴らしいものとなりますように。

～日本航空 社員一同～